



麦穂

東村山第一中学校

令和2年度10月号

学校だより

発行者 校長 海老塚 俊一

副校長 岩永 英樹

毎年秋の到来を知らせてくれる金木犀の花や香りも台風14号による雨と共に去り、職員室前の木々の様子からも季節が一步進んだ感じがします。

さて、10月3日土曜日に令和2年度オリンピック・パラリンピックワークショップ・講演会を実施しました。学生団体SOAR（ソア）から4名の方をお招きして、「いのちの持ち物けんさ」というテーマのクラスごとのワークショップのあと国連UNHCR協会（国連難民高等弁務官事務所）の天沼耕平様から体育館で「難民」をテーマとした講演をいただきました。

講師の方々の『真剣な眼差し』や『語り』から生徒に多くのことが伝わり、問題意識を持って考えていることが『クラスや体育館の生徒の雰囲気』からも感じられ学びの多い時間となりました。

先日の放送での全校朝会では、次のようなお話を生徒にしました。

「臨時休業期間もありましたが、10月に入り令和2年度も折り返しを迎えました。2学期の目標で『友達を一人にしない』と書いてくれた人がいました。コロナ禍で大変な時期だからこそ改めてこの言葉がとても素敵だなあと感じます。クラスの雰囲気も固まりつつある今、改めて皆さんには、一人一人が大切にされるクラスづくりを再確認してほしいと思います。SDGsの学習や10月3日土曜日の講演でも学んでいます。今世界には、人権や平和、環境を始め多くの解決しなければならない課題があります。しかし、みんなが様々な知恵を出し合い大きな課題に取り組んでいく基本は、毎日の日常生活にあると思います。今月17日の生徒会役員選挙に向けての活動が行われていますが、『より良い一中』『より良い学年』『より良いクラス』作りのために、だれもが大切にされている雰囲気作りが今自分の周りでできているか？そして何より自分自身が周りの友達を大切にしているかを考えてください。大変な今だからこそ皆さんが多くの時間を過ごす一中が、誰もが前向きで、温かい学校でなければならないと思います。そのような雰囲気があれば、みんな『不安』や『悩み』があっても前向きな気持ちで頑張ることができるのではないのでしょうか。

人にはそれぞれ相性というものがありますが、自分と同じ価値観で気の合う人だけが仲間ではありません。ましてや人は日々変化し、成長しています。身近な友達の様子をよく見て友達の良さや悩みを感じてほしいを思います。今日は、ある人が今学期の目標に掲げた『友達を一人にしない』という言葉が、『仲間を大切に、決して誰も一人にしない』という温かい気持ちや広がりを感じる言葉だなあと嬉しく思いこのお話をしました。」

さわやかな季節になりました。『実りの秋』になるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願ひいたします。

【オリンピック・パラリンピックワークショップ・講演会】



〈部活動における活躍〉

○卓球部

- 1 1 ブロック新人大会 ・女子団体 第2位（多摩大会出場決定）
 - ・女子シングルス 第3位（都大会出場決定）
 - ベスト16 1名（都大会出場決定）
 - ベスト16 2名

ホームページへの個人名掲載は控えさせていただきます。

体調管理等のお願い

最近では、肌寒い日もあり、体調管理には一段と気を遣う季節になってきました。感染拡大防止の観点により、各ご家庭におかれましては、検温等の徹底など、お子様の体調管理にご協力いただいておりますが、同居されているご家族等に発熱等の症状がみられる場合には、念のため学校をお休みいただきますようお願いいたします。（その場合は、出席停止となり欠席とはいたしません）